



岡山大学法学部だより



※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第136号(2017年7月24日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

梅雨が開け、本格的な夏を迎えました。毎月一回程度発行している法学部だよりですが、8月はお休みとさせていただきます。皆様、楽しい夏休みをお過ごしください。

○入試改革

法学部副学部長・入試委員長 塩谷 毅

大学入試改革がそろそろ山場にさしかかってきました。平成32年度に現在の「大学入試センター試験」が「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」に変更され、それにあわせて各大学の個別学力試験も様々な修正を余儀なくされます。入試の重要な変更はその2年前までに予告しなければなりませんから、「平成32年度における修正」は平成30年度中に予告することになります。つまり、平成32年度に高校3年生になり大学入試を受験する学生が高校1年生のうちに、あなたたちが受験する入試はこうなりますよと予告しておく必要があるのです。そのため、平成32年度における入試制度の大きな変更をどのようにするかは、平成29年度の1年間で議論して決着をつけなければならないのです。

高大接続システム会議の最終報告は、今後の時代を生きる上で必要となる資質・能力を育成するために、①十分な知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・共働性を特に重視するとしており、入学者選抜もこれらの「学力の3要素」を評価するためのものとされており、①と②を入試において評価するというのは従来通りの話ですが、③の「学びの主体性の評価」が強調されていることが今回の入試改革の特徴です。「主体性を評価する」といわれても、どのように評価すれば良いのか大変難しいのですが、今のところ、具体的には、調査書や志望理由書、面接試験を活用することが考えられています。そして、それらを活用した主体性の評価に、従来以上の力点が置かれることになりそうです。

岡山大学法学部では、現在、一般入試の前期日程と後期日程を入学者選抜の柱としつつ、多角的な観点から評価して学習意欲の高い学生を選抜するために、昼間コースではA0入試と国際バカロレア入試を、夜間主コースでは社会人入試を取り入れています。それぞれの入試の科目や配点をどうするかなど、数年、場合によっては十数年に一度の大きな見直しの年になります。

優秀な学生が一人でも多く岡山大学法学部に入ってくることが、岡山大学法学部の未来にとって重要ですので、どのような選抜方法が望ましいのかをしっかりと議論していきたいと思えます。

○2016年度法学検定試験 第2位(合格率の部)

2016年度法学検定試験のベーシック(基礎)コース合格率の部で、岡山大学が86.4%で第2位になりました。

.....

- ・本メルマガは、毎月1回程度配信しています。
- ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。
法学部HP <http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/index.html>
- ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
- ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/local/mail/index.html>
- ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。